



# ふれあい通信

## 史跡ガイド新入会員募集研修

京都で生まれ育った人、新たに京都に縁が出来た人、普段街中を散策中、ふと街角に立てられた石碑に気付き、書いてある漢字が読めず、いつの時代の誰かも分からず、しかし知りたいと思った事はありませんか。

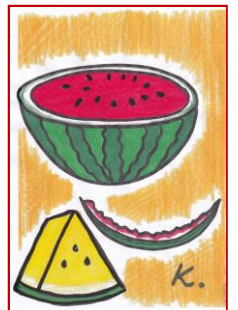
そんな方々に千年の都、京都の魅力や歴史・史跡を知って頂き、共に京都史跡ガイドボランティア協会での活動を希望する機会として企画・研修部が無料で研修会を開催しました。七月二十四日(土)は、ひとまち交流館会議室で座学を、七月二十五日(日)は実技として、「新選組史跡」と題し、京都駅から壬生までを、十名の参加者(応募者五名・会員五名)により現地での研修を実施しました。

座学では当協会の組織や歴史などに加えて昨年行った梅津ウォークを参考に、映像を交えながら、研修企画担当の今井がガイドのポイントの説明をしました。

同研修を実施するにあたり、研修企画担当を中心に研修のチラシを作成し、二〇二〇年九月から図書館や公民館に配って参加勧奨を図ってきました。その甲斐もあり今回の研修で四回を数え、期間中四十余名の問合せがあり、参加も三十数名を数えました。その結果、八名の新入会員が誕生し、賛助会員も二名が新たに加入されています。

まだまだ潜在的に京都史跡のガイドを希望される方はおられます、十一月に第五回を予定し、チラシ作成や配布をします。会員の皆様、研修参加等、ご協力よろしくお願い致します。

京都史跡ガイド  
ボランティア協会  
会長 山田久男  
編集 澤田 卓



研修・企画 今井 満

## 今井研修担当による 島原大門前の説明風景



## 座学風景・プロジェクターを利用 史跡ガイド研修のポイントの説明

## 面白発見

怖い・お話：渋谷トンネル

チーム彩 矢野正明

京都から東山を越え近江に行く五つの街道のうち、渋谷越(しぶたにこえ)があります。

近世以後、脇街道となつてしまった渋谷越は、五条橋口より清閑寺山、阿弥陀ヶ峰の谷を通り山科、東海道に通じています。

現在の五条通(国道一号線)とほぼ同じ道筋にあり、旧道は、急坂の難所でした。

渋谷は、昔は「苦集滅道(くずめち)」とか、道がぬかるんで歩きにくかったことから「汁谷(しるたに)」街道と呼ばれていました。

古くは風葬地の一つ「鳥辺野」を通り抜ける街道であつたことから「死人谷」とも呼ばれていました。昔は東の処刑場、今は京都中央斎場



心霊スポット  
渋谷トンネル

に近く、明治三六年に「渋谷隧道」として開通。

今は自転車、歩行者専用通路ですが、薄暗く気味が悪いのでほとんど通行人は見かけません。戦後、タクシーの運転手が馬町で老婆を乗せ「しぶたに」と言うので、火葬場近くまで送って、バックミラーを見ると、スーと消えていた。という話を小さい頃に聞き、それ以来、いまだに隧道を抜けきれない唯一の五街道です。夏の暑い日。少しは寒くなったでしょうか？



## 玄武神社

チーム葵 遠藤千代子

平安京四守護の一つ、北の玄武に船岡山の近くに玄武神社があります。

御祭神は五五代文徳天皇の第一皇子惟喬（これたか）親王です。聡明な方で皇太子になられると思われていましたが、当時、権勢を誇っていた藤原良房の娘に第四皇子惟仁（これひと）が誕生。天皇は良房を慮り僅か九ヶ月の惟仁皇子を皇太子にしました。

第一皇子でありながら政治の中樞の圏外に身を置かれました。時勢を察し山崎・水瀬に閉居、詩歌、吟唱をたしなまれたとか。

親王の末裔で紫野に住む星野茂光が親王の愛剣を祀ったとされています。

玄武神社は玄武が亀に蛇が巻き付いた形から「亀の宮」と

も呼ばれ、有名な玄武やすらい祭りが行われます。花鎮、厄除けのお祭りです。知られていません。花笠の中には息災が叶うのでお参りする」と必ず花笠に入ります。

国の重要無形民俗文化財に指定されています。



## 『驚き、桃の木、明治の記』 ⑤井上馨

チーム葵 今川博明

今回も渋沢栄一の大蔵省時代の上司、井上馨の紹介です。別名？（首相になれなかった男）

明治三年の戸籍法制定の年、後に京都知事にもなる中井弘は板橋の芸妓の武子と結婚していましたが、そもそも中井は薩摩藩脱藩の身であり、自分は極刑になるかもしれないと思い、大隈重信に妻の武子を預けていた。ところが彼女は芸妓だけあって愛嬌があり、その上に美人だったので、井上薫がほれ込んでしまった。そして偶然、大隈の屋敷に中井が来た時に、大隈が中井に『井上が、武子さんにぞっこんなんだが・・・』と話しをしてみたところ、中井は『そういうことなら武子をくれてやる。その代わり決して離別しないという誓約書を書くのなら良い』と了承したのだった。井上は約束通り武子を生涯大事にした。ヨーロッパ視察にも連れて行った。その武子も芸妓上がりとなつて、外国の社交術も学び、鹿鳴館の女王と呼ばれるほどになった。

この鹿鳴館の名前は、井上馨が中井弘に頼んで付けたという。また、鹿鳴館の祝宴当日は井上馨の誕生日だったらしい。明治三四年、第四次伊藤内閣のあと、明治天皇より「井上が組閣すべし」との命令が降り、六六歳の彼は組閣すべく奮闘しますが、大臣就任を引き受ける者が集まらず、断念します。

これ以降政界の一線から引きますが、侯爵であり、ただの元老ではない井上は三井や藤田組といった大財閥の顧問として経済界にも君臨し、日本の資本主義に貢献しました。しかし同時にそのことが金にまつわる黒いイメージにつながる面もあったようです。これだけの実力があり、その機会があるながらも、首相になれなかった男、それが『井上馨』です。

## 記紀の世界へ誘われて

チーム葵 澤田 卓

出雲界限は、自然が豊富で大好きな場所ですが、このご時世ですので人手を避けてあの有名な神社を外して、マイナーな伝説の史跡巡りをしてきました。

松江市の揖夜（いや）神社は、イザナミノミコトを祀るといわれ、近くにはこの世と他界を分ける黄泉比良坂（よもつひらさか）という坂上に結界があり、イザナキノミコトが追いかける邪鬼に投げた桃で脱出できたという桃の木が植えられ、黄泉の国への出入口は千引き岩で塞がれていた。また傍には手造り感満載のポストがあり、亡き妻へのメッセージが投函できるようになっていました。

ただし、この伝説は安来市の比婆山や広島県境の比婆山にも千引き岩があり、また、少し遠いが、熊野市の花窟神社だともいわれる。

しかし、この地域に圧倒的に多いのが、素戔嗚尊や八岐大蛇、妻となった櫛名田比売（クシナダヒメ）、大国主命など実にハラハラドキドキする伝説の地が随所に散らばっていることではないでしょうか。そして非常に人間臭い姑息な戦い方で大蛇を退治するなど実に怪しいのも個人的には興味を惹かれます。

なお、その後の大和政権の発足後の妬みや裏切り、嫉妬に殺害。特に仁徳天皇亡き後のやりたい放題と比較すると出雲の伝説には敗者の鬱々とした悲哀を感じるのには私だけではないことでしょう。

素戔嗚尊が大蛇に酒を飲ました『印瀬の壺神』、櫛名田比売の両親を祀る『温泉神社』、素戔嗚尊と櫛名田比売の新居『八重垣神社』など多くの見所がありました。子孫繁栄を願うあのシンボルはご立派でした。



## 石上神社の七支刀の一考察

チーム雅 今井 満

天理駅から山の辺の道は、石上神社からスタートになる。祭神は布都御魂（ふつみたま）であり、神宝は神武天皇が禁足地に埋めたとされる劔が、明治になって発掘された。一つは明治七年出土した布都御魂劔、それと明治一年出土の天羽々斬劔の二振りである。

併せて丹波桑田村の甕襲（みそか）の飼い犬足往（あゆき）が、むじなを食い殺し、腹にあつた八尺瓊の勾玉が神宝とされている。

神社の檜皮葺拝殿は鎌倉時代で日本最古。平安時代後期、白河天皇は当神宮を殊に崇敬され、現在の拝殿は天皇が宮中の神嘉殿を寄進されたものと伝えられ、国宝である。

またこの神社にはもう一つ国宝がある。それは七支刀といって、枝のように六つの小刀が付いて、錆びているが金象嵌で「泰〇四年」が刻まれている。この七支刀は、百済からヤマト王権に贈られたと謂れ、紀年が刻まれているに、主に三つの説がある。

① 西晋 「泰始四年」二六八年 『日本書記』神功皇后の項に百済から貰ったとあるが、日本書記の編年などに問題がある。

② 東晋 「太和四年」三六九年 刻まれた年号と違うが、泰と太は同じ音だという。字画を増やして刻む事に違和感がある。だが半島の歴史から妥当だと、学者の多くが支持している。

③ 南宋 「泰始四年」四六八年 年号から順当ながら、評価は低い。倭の五王であれば、興王の世であり、安康天皇で宮は石上穴穂宮であることから、個人的には「四六八年」が、もっとも正しいように思う。

こんな歴史の謎を歩きながら考えましょう。

## 京都の地味な話 : 「洛北の盆踊り」

チーム彩 奥西 不二

八月の京都の行事を代表するのは「五山の送り火」ですが、それ以外はあまり知られていない行事が沢山あり、それぞれの地元の人々にとっては大事なもののばかりです。そのほとんどが祖先の精霊を鎮魂するためのもので火や、水や、鉦や太鼓や、踊りが登場します。

洛北には古くから伝えられた盆踊りがあります。地味ではありますが素朴で土の香りがあるものばかりです。いくつかを取り上げてみます。一覧は次の通りです。

- ◆ 8月15日 「鉄仙流白川踊」  
北白川小学校
- ◆ 8月15日・16日  
「松ヶ崎題目踊り」  
松ヶ崎大黒天〜妙円寺〜
- ◆ 8月16日  
「市原ハモハ踊・鉄扇」  
川島セルコン駐車場
- ◆ 8月19日  
「上高野念仏供養踊」  
上高野宝幢寺
- ◆ 8月27日  
「修学院題目踊・紅葉音頭」  
修学院七町会館前
- ◆ 8月31日  
「一乗寺八大神社鉄扇踊奉納」  
一乗寺八大神社境内

\* 今年にはコロナ感染予防のために実施については確認してください。

「鉄仙流白川踊り」道念節から派生したもので、らしいですがよくわかりません。楽器は使わず、一つの物語を語るような節まわしに合わせてゆったりと踊ります。

「松ヶ崎題目踊」松ヶ崎涌泉寺はもともと天台宗の寺院であつたが僧実現が法華宗に改宗し、村人達はその説法に惹かれ全員は改宗しました。実現は歓喜のあまり南無妙法蓮華經と音頭を取り始めたのが始まりと言われています。今から七百年前の話です。（次頁の写真）

## 「市原ハモハ踊・鉄扇」



市原の川島セルコンの駐車場で行われます。明治時代、近くの山で送り火が点火された後に踊られていた盆踊りです。

「ハモハ」とは、「ナムアミダブツ」が「ハモハムアミダー」という文句に由来していて、先祖供養に通ずるものです。

「上高野念仏供養踊」上高野宝幢寺は浄土宗の寺院で九百年前から伝えられていましたが大正期に途絶えました。昭和六十三年に地元の古老によつて再現され現在に至っています。囃子方の鉦と太鼓に合わせて念仏を唱えながらゆつくりと輪つくりながら踊ります。

「修学院題目踊・紅葉音頭」大日盆の日に鷲森神社の御旅所でもある七町会館前で行われます。音頭取りが歌う「南無妙法蓮華經」という題目に節を歌うのに合わせておどる。その後紅葉音頭を踊ります。

「一乗寺八大神社鉄扇踊奉納」一乗寺八大神社では八月三十一日の夜、神事とお千度詣りのあと音頭と踊りが奉納されます。櫓に乗った男性の音頭に合わせて女性たちが優雅に踊ります。鉄扇踊りは鳴り物がなく「ドッコイ」「ソレ」の掛け声が入るだけの静かな踊りです。「鉄扇（鉄仙）」とは僧の名前で、鉄の扇を振り回すのではありません。（次頁右は提灯）

## 次回ウォークのお知らせ

第一七六回ウォーク 九月一九日(日)

「明智光秀と坂本城址：西近江路を行く」

築城四五〇周年にちなんで坂本城址と西教

寺周辺の光秀ゆかりの地を訪ねます。

京阪石坂線 坂本比叡山口駅集合

## 京都史跡みつけ隊紹介

今春より、当協会有志によりSNSフェスブックに「京都史跡みつけ隊」という公開グループを立ち上げました。京都周辺の史跡を紹介し、併せて当協会の行事などをお知らせするものです。どなたでも参加でき、投稿できます。「京都史跡みつけ隊」で検索し、ぜひ一度のぞいてみてください。現在、当協会員も数名参加しています。

(担当：秋房)



## 塔の心柱の突き抜けについて

富永 正治

前回に三重塔、五重塔は、発祥の地インドで仏舎利を安置するお墓であるストウーパを、中国から日本に伝わる過程で卒塔婆や塔となったとの寄稿をしました。今回は奈良の薬師寺について案内いたします。

薬師寺西塔(左側)は一九八一年に四五〇年振りに再建されましたが、創建当初からある東塔より約三十センチメートル高く作られています。これは時が経つと瓦の重みや木材の収縮で塔がだんだん低くなっていくからで、収縮し続けて約二百年後に東塔と同じ高さになる予定だそうです。

この時、木の繊維が縦方向で各層の屋根とは接していないため屋根の重さがかからない心柱はほとんど収縮しないので長さがあまり変わりません。放っておくと塔から心柱だけ突き抜けて雨漏りするのです。心柱の下の方を切って建物本体との高さを合わせる必要があります。図のように東寺の五重塔は一六四四年の再建から四八年後の一六九二年に心柱が五層部分を突き抜けてしまったので、心柱の下部を四五センチメートル切って高さを調節しています。

また、屋根の勾配も東塔より緩やかになっています。柱の支えの少ない屋根の軒先部分の方が、下がり込みが大きいので建築当初は勾配を緩やかにしているのです。二百年後にはきつと東塔と同じ勾配になっているに違いありません。

それにしても何百年も先のことを考えて塔を建てるなんて、宮大工さんはなんてすごいんでしょう。

